



運 営 協 議 会 だ よ り

第6号

代表 近藤 弘文 校長 加藤 雄一

第6回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 令和3年11月9日 17:00～18:15

■場 所 落合第六小学校 図書室

■司 会 副校長

【代表挨拶】

本日は最初に教育委員会の方から、地域協働学校研修会があります。森先生、よろしくお願いいたします。

【校長挨拶】

11月5・6日に学習発表会が開催されました。劇や学習した内容の発表など、マイクを使用し子どもたちはマスクをしたまま発表しました。密を避けるため、子どもたちの鑑賞日は3学年ごとの2部制で、保護者鑑賞日は各学年入れ替え制で行いました。子どもたちは、練習の成果を発揮していました。

区内では周年を迎える学校もあり、さまざまな工夫をして式典を開催しています。今後、落六小でも卒業式等に向けて、感染対策した上でどのような方法で開催できるか区教委と連携しながら考えていきたいと思っています。

【地域協働学校研修会】

新宿区の特別支援教育について、資料を見ながら説明を聞きました。就学相談を行っており、必要な支援を受けることができます。新宿区の特別支援教育には、「①特別支援学級②特別支援教室(まなびの教室)③特別支援学校④ことばの教室」があります。もし何か相談を受けましたら、この取組をお伝えいただき、相談する場所があることをお知らせください。

他校の地域協働学校が実施している内容を、資料で情報共有しました。

【特別支援に関する意見交換】

- ・就学相談で、保護者の方の悩みなどを専門家に話すことができます。
- ・近所の方から就学に関する相談を受けたのですが、保護者としてはショックな部分があったようです。
- ・通常学級から途中で転校することもできます。その都度、保護者の方と相談していきます。
- ・子どもにとってより良い教育を保護者と相談しながら、支援していきます。
- ・それぞれの子どもでまなびの教室の効果は違うが、各学校に設置されたことは良い方法だと思います。
- ・「特別」という言葉に抵抗はまだあるが、パラリンピックなどを見ることで、一人一人が違うという事が以前より身近に感じてもらえるようになったのではないかな。

【地域協働学校の取組について】

今まで実施していた学校外の方々の活動を、資料で情報共有しました。来年度に向けて、どの時期に実施希望など、学校側の意見を確認したいと思います。コロナ禍で活動が縮小してしまったので、今後どのように継続していく方法が良いのか、話し合っていきたいと思っています。

【意見交換】

- ・卒業茶会をコロナ前は実施していた。もし今後、感染対策し実施できるようになれば、また開催してはどうか。
- ・他校の実施内容を見て、「あいさつ運動」を行っている学校が多く、落六小でも実施してはどうか。
- ・年明けからでも、「あいさつ運動」なら実施できるのではないかな。次回、検討してみてもどうか。

【次回の予定】 令和3年12月7日(火) 17:00～

【出席者】

近藤 弘文、西澤 輝信、橋田 稔、原田 榮、亀井 治子、篠田 邦子、
大森 正義(西落合図書館館長)、大山 真帆子(落合第二特別出張所所長)
森 修二(教育支援課)、加藤 雄一、村上 珠子、水上 真理(書記兼務)、